

ミカドアナナス(Alcantarea imperialis)が開花しました

報道発表日時：2026年5月22日 午前10時30分



本件については、令和8年5月22日に内容を変更しております。詳しくは関連情報にある「(訂正)ミカドアナナス(Alcantarea imperialis)が開花しました」をご参照ください。

東山動植物園では2015年以来11年ぶりにミカドアナナス(Alcantarea imperialis)が開花しました。温室前館の中央ヤシ室の通路に鉢植えで展示しています。

花序の元に近いところから先端に向かって順に開花していくため1、2週間は開花の様子を鑑賞していただけます。

開花時期

令和8年5月末頃まで

(注)開花状況は気温などによって変動があります。

(注)開花情報につきましては、東山動植物園公式SNSで随時お知らせします。

展示場所

東山植物園温室前館の中央ヤシ室

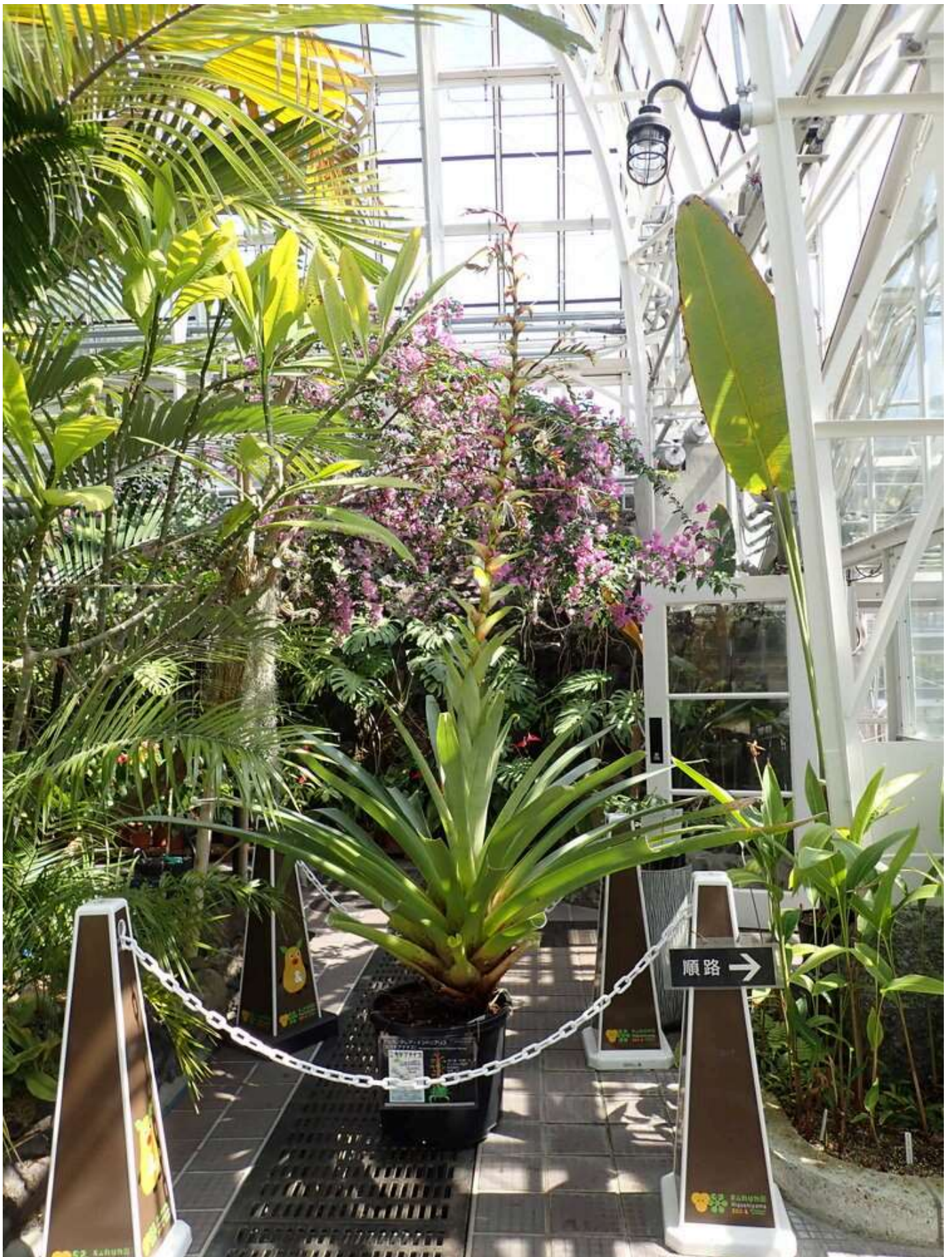


【ミカドアナナスについて】

ミカドアナナス(皇帝アナナス)(*Alcantarea imperialis*)はブラジル固有の巨大なパイナップル科の草本植物で標高1,200から2,000mの岩崖という大変過酷な環境で生育しています。現地では、花茎は高さ5mにもなりおよそ500個もの花を咲かせることで知られます。花から大量の蜜が出て、コウモリやハチドリが訪れます。150cmもの長さになる多数の葉の間に大量の水を貯めることができ、ときに40Lもの水を貯めることができることから、過酷な地で暮らす他の生物にとっても重要な資源となっています。開花後、花を咲かせた株は枯れ、基部から出る腋芽が新たに生育しますが、次に花を咲かせるまでに10年以上かかるといわれています。開花の様子を鑑賞できる機会は極めて稀な植物です。

【東山動物園で開花した株について】

2015年5月に中南米産植物温室で開花した株の子株が生育したものです。2015年から2025年は中南米産植物温室で栽培していましたが、2025年秋、温室後館改築準備のため鉢上げバックヤードで管理をしていました。2026年3月に花芽が確認できたため、4月中旬にバックヤードから温室前館中央ヤシ室へ移動したところ、4月18日の夜から開花が始まりました。



ミカドアナナス(全景)



ミカドアナナス(花)



ミカドアナナス(花茎)

関連情報

➤ [\(訂正\)ミカドアナナス\(Alcantarea imperialis\)が開花しました](#)

報道発表に関するお問い合わせ

緑政土木局東山総合公園東山植物園

担当者:大橋・眞田

電話番号:782-2111

ファクス番号:782-2140

Eメール:higashiyama@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp